

# 医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	清潔間欠自己導尿（CIC）指導を行った患者の障壁に対する排尿ケアチームの介入
研究責任者	聖隷浜松病院 看護部 鈴木千佳代
研究実施体制	聖隷浜松病院 排尿ケアチーム専任看護師 藤田三貴 鈴木里江 リハビリテーション部 飯尾 円 泌尿器科 米田達明 神田由佳 リハビリテーション科 伊藤悠介 藪崎敦子
研究期間	2022年 4月 1日 ～ 2022年 12月 31日
対象者	2020年1月～2022年3月までの間に当院に入院されて排尿困難の症状があり、排尿ケアチーム専任看護師より自己導尿指導を受けた患者さま
研究の意義・目的	当院では2020年より排尿ケアチームを立ち上げ、尿道留置カテーテルを早期抜去し、尿路感染を防止するとともに排尿自立の方向に導く活動をしています。排尿ケアチームでは排尿困難患者さまに対し、尿路感染症予防やQOLの維持のために自己導尿を推奨しています。しかし、自己導尿は患者さまにとって不安や負担感が大きく、指導開始から自己導尿確立までにはいくつかの障壁が存在しています。今回の調査では排尿ケアチームが自己導尿指導を実施した方を対象に電子カルテから情報を振り返り、自己導尿に対してどのような障壁があったかを明確にして、どのような介入が必要かを検討し、排尿ケアの向上に役立てることを目的としています。
研究の方法	電子カルテから情報収集し、後ろ向き観察研究を行います
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 看護部管理室 (氏名) 鈴木 千佳代 TEL : 053-474-2229 (看護部 直通) 9:00～17:00 平日